Good Job!! Nagasaki

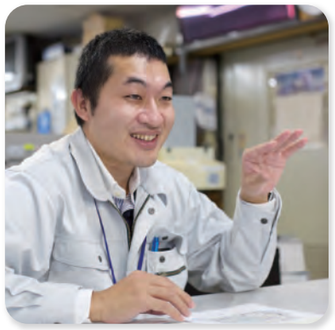
グッジョブ!! 長崎県

Good Job!!

今月のグッジョブ

［島原振興局道路都市計画課］

未来への架け橋、島原道路



島原道路班 花木（はなき） 剛（ごう）さん

道路の建設は、事業計画策定の段階から地元の方や地権者の方に協力や同意を得ながら進めています。未来の子供たちに役立つ道を作るため、工期通りに工事が進むよう頑張っています

建設改良班 貝田尚哉（かいだなおや）さん

道路の建設や拡幅、改良工事の際、工事現場で監督や測量などを行うほか、百花台公園の整備なども行っています。将来は道路の建設や大規模な改良工事を担当し、地域の活性化に貢献したいです

さらに便利に、安全に！生活に密着した道路事業

島原振興局道路都市計画課は、諫早・島原間の交通アクセスを大きく改善する島原道路の建設を担う島原道路班、国道の拡幅や百花台公園の整備などを行う建設改良班、歩道整備や防災事業、道路パトロールなどを行う維持舗装班の３班で構成されています。

主な業務は、「長崎県の道づくり基本方針」に基づいた規格の高い道路の整備と生活に密着した道路の整備・維持管理。中でも現在、重点的に取り組んでいるのが島原道路の建設です。

「島原道路は、南島原市深江町を起点に、長崎自動車道諫早ICまでを結ぶ延長約50㎞の地域高規格道路です。全線開通すると、諫早ICまでの所要時間が90分から40分となり、50分間短縮されます。それにより観光客の増加、農林水産物などの輸送時間の短縮、また医療や災害時に迅速な対応ができるなどの効果が期待されています」と教えてくれたのは26名の職員をまとめる中村泰博（なかむらやすひろ）課長。

すでに13㎞が供用開始され、６区間が整備中。そのうち島原振興局では、３区間を整備しており、現在、平成29年度中に開通予定の吾妻愛野バイパス約1.7㎞の整備に力を注いでいます。

「道路建設にあたっては、計画の段階から地元の皆さんと十分に話し合いながら事業を進めています。工事期間中は、大型工事車両の通行や交通規制などでご迷惑をおかけしますが、事業へのご理解とご協力をお願いします」。

島原半島の活性化の一翼を担う島原道路。全線開通に向けて職員一丸となって取り組んでいます。

吾妻愛野バイパスの建設現場。何度も足を運び、安全で正確な工事の管理に努めています。前列左から４番目が中村課長

設計図どおりに鉄筋が組み立てられているかを確認する鉄筋検査を行う

構造物が設計図どおりの高さで造られているか測量を行う

人、産業、地域が輝く、たくましい長崎県づくり実現のためには、交流人口の拡大や産業振興を支える規格の高い道路の整備とともに、県民の皆さんの生活に密着した道路の整備が欠かせません。

快適で安全・安心な暮らしを実現するため、県内各地域の道路整備に全力で取り組んでいきます。

長崎県知事　中村法道